

# BBLセミナー プレゼンテーション資料

2014年2月19日

## 「アジア経済とADBの役割」

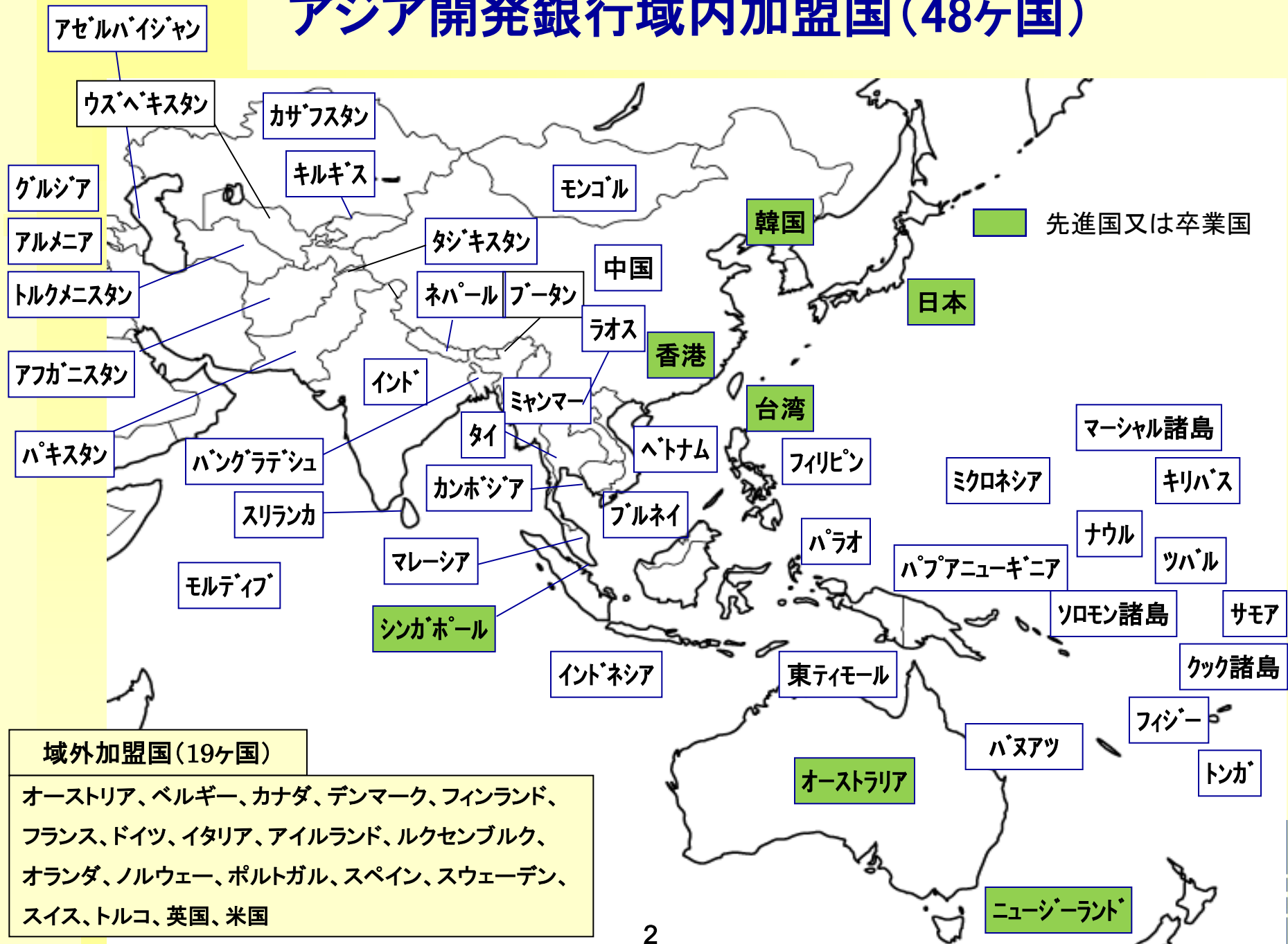
中尾 武彦

# 資料

2014年2月  
アジア開発銀行総裁  
中尾 武彦



# アジア開発銀行域内加盟国(48ヶ国)



# アジアの主な途上国

(2013年)

	人口(百万人)	GDP (十億ドル)	一人当たりGDP (ドル)
中国	1,360.8	8,939	6,569
インド	1,243.3	1,758	1,414
インドネシア	248.0	867	3,499
パキスタン	182.6	237	1,295
バングラデシュ	155.9	140	899
フィリピン	97.5	272	2,792
ベトナム	89.7	170	1,896
タイ	68.2	401	5,879
ミャンマー	65.0	59	915
韓国	50.2	1,198	23,838
<b>(参考)</b>			
日本	127.3	5,007	39,321
米国	316.5	16,724	52,839
ドイツ	81.8	3,593	43,952
フランス	63.7	2,739	42,991
英国	63.8	2,490	39,049

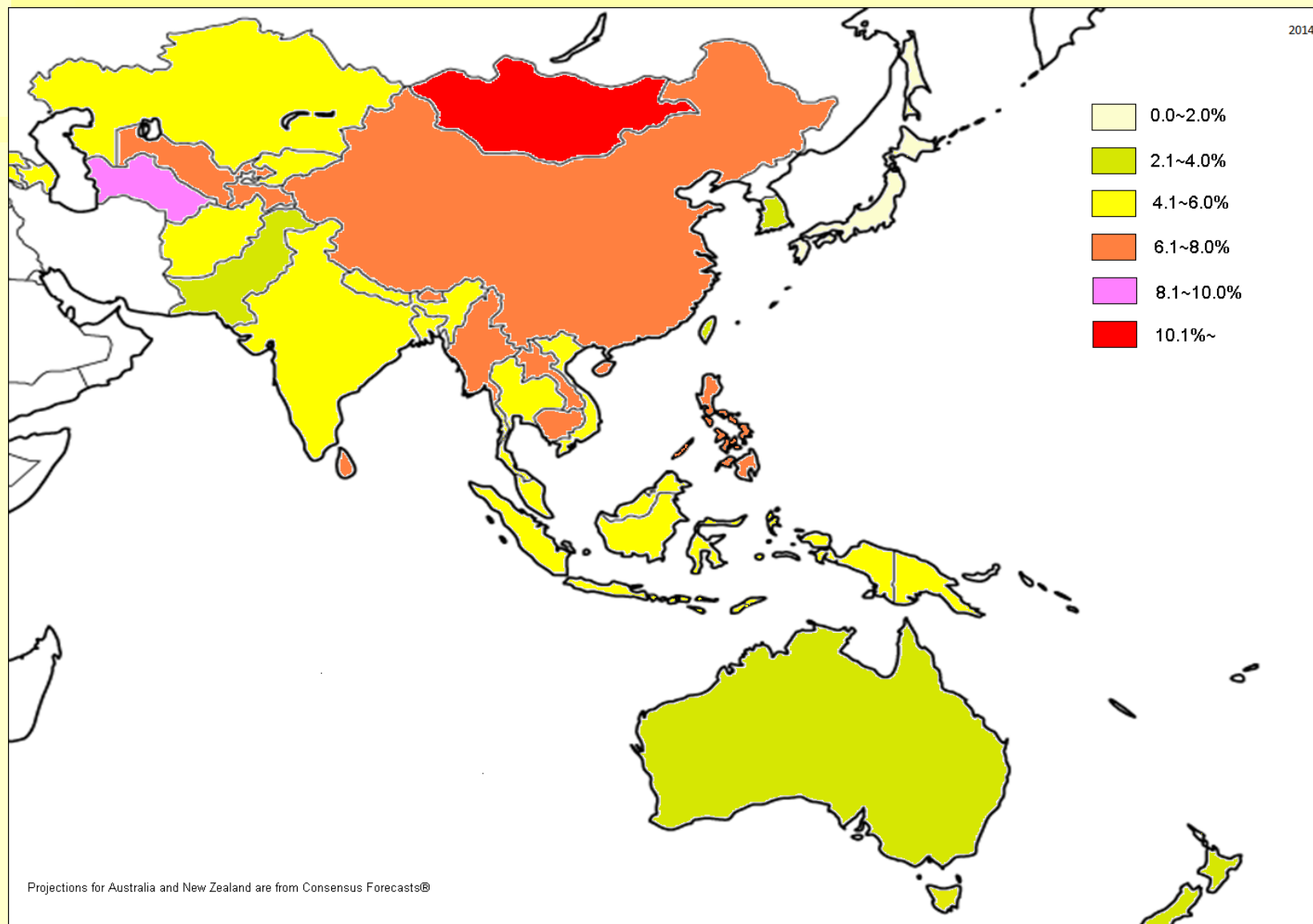
Sources: Myanmar GDP and per capita GDP from WEO October 2013; others from WDI

# アジア経済の状況

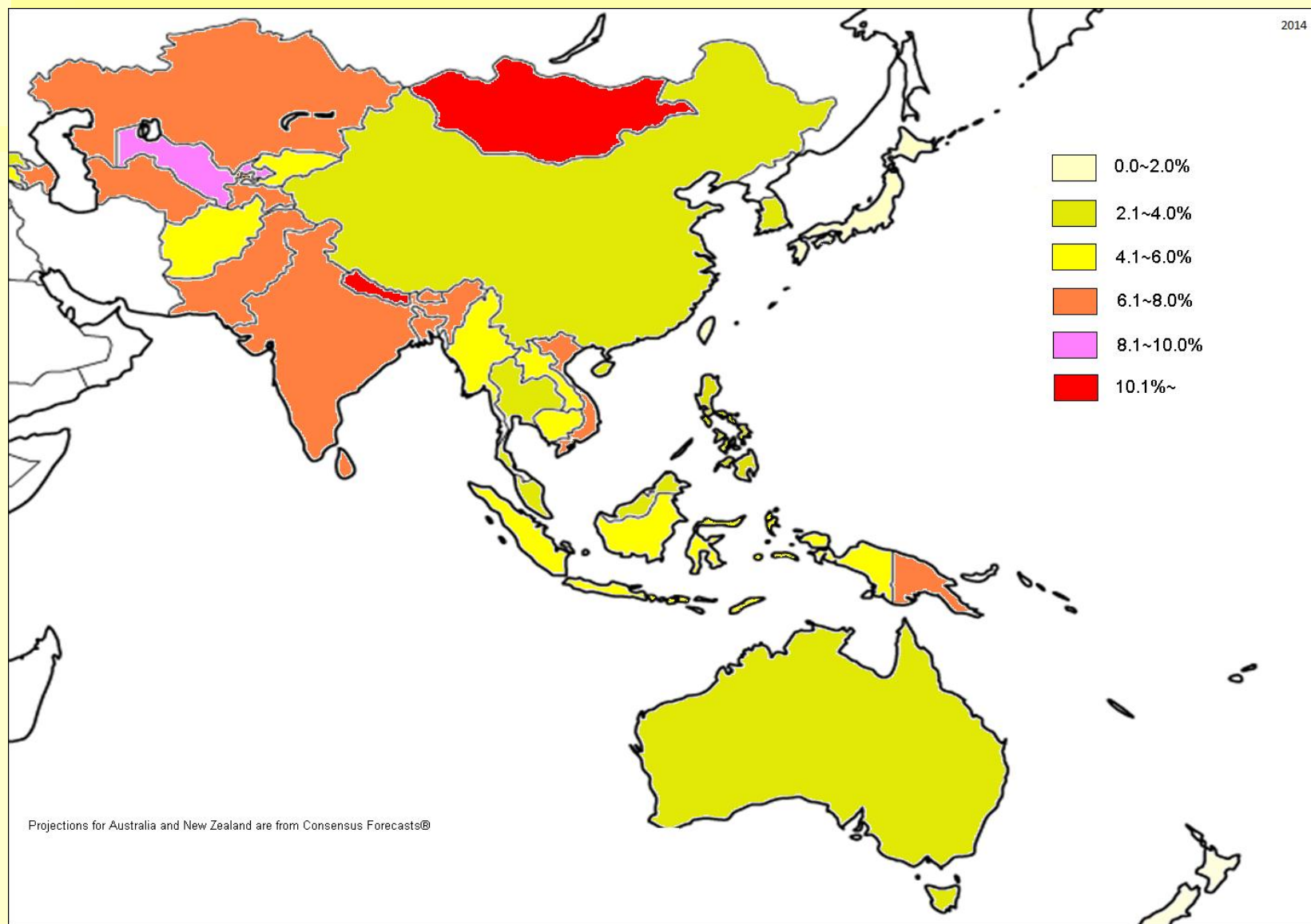
(2013年12月 Asian Development Outlook Supplement)

成長率 (%)	2012年	2013年 (含予測)	2014年 (予測)
アジア途上国全体	6.1	6.0	6.2
中国	7.7	7.7	7.5
インド	5.0	4.7	5.7
インドネシア	6.2	5.8	5.8
パキスタン	4.4	3.6	3.0
バングラデシュ	6.2	6.0	5.8
フィリピン	6.8	7.2	6.1
ベトナム	5.2	5.2	5.5
タイ	6.5	2.9	4.7
ミャンマー	6.4	6.5	6.8
韓国	2.0	2.8	3.5

# 2014年の成長率(予測)



# 2014年の消費者物価上昇率(予測)



# アジア開発銀行 (ADB)

本部 フィリピン マニラ

設立 1966年

加盟国 67カ国・地域

資本金 約1,635億ドル

主要株主 日本(15.6%)、米国(15.6%)、  
中国(6.4%)、インド(6.3%)等

年間投融資額 約134億ドル(投融資残高 約800億ドル)

上位借入国 インド、中国、パキスタン、インドネシア  
フィリピン、バングラデシュ、ベトナム等

専門職員数 1,083人(うち日本人149人)



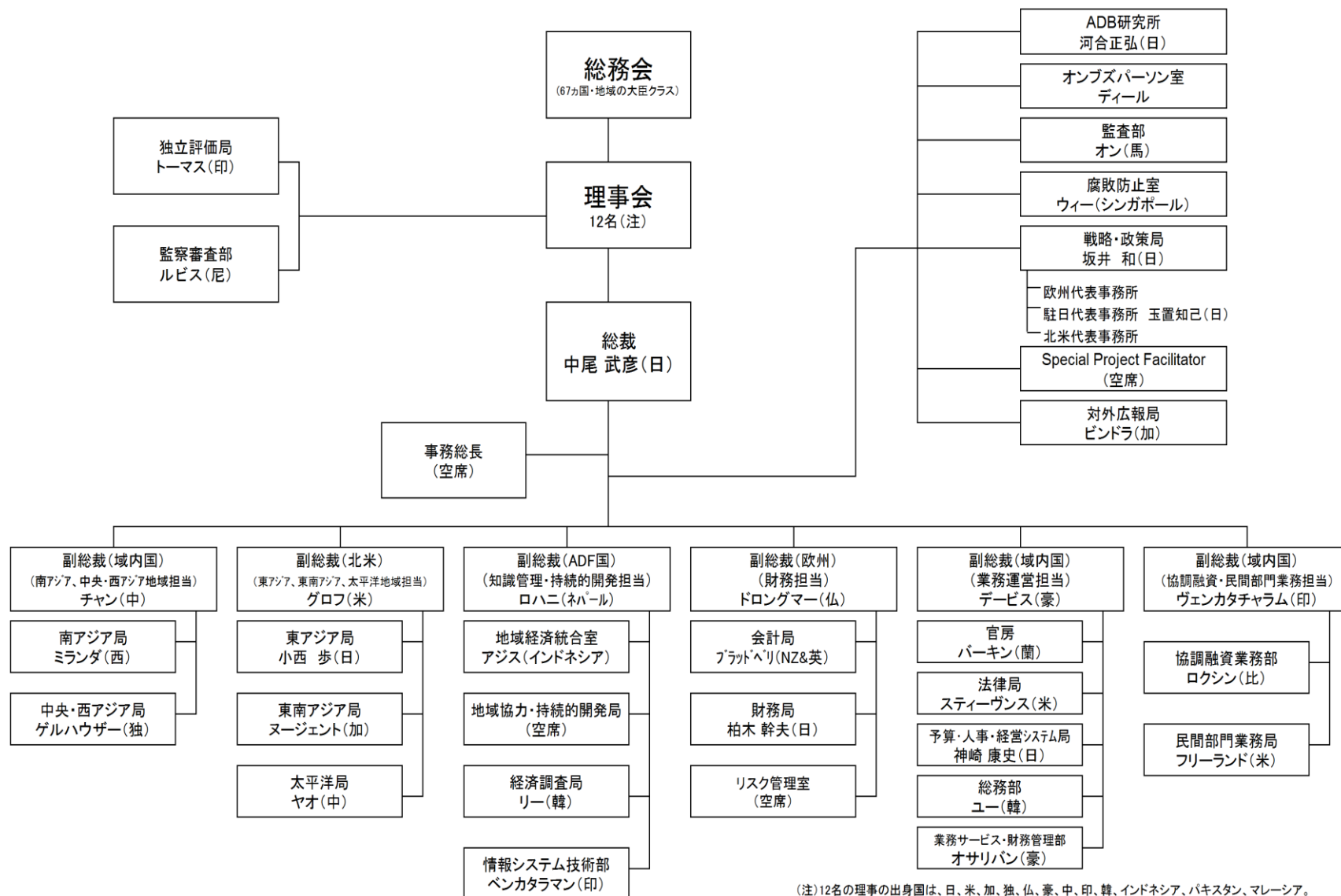
## 主な業務

- アジア太平洋地域の途上国に対する融資、グラント(無償支援)、技術支援。
- 融資には、OCR(Ordinary Capital Resources:通常資本財源)及びADF(Asian Development Fund:アジア開発基金)がある。
  - OCRは、中所得国(一人当たり国民総所得が7,115ドル以下を目安)向けに準市場金利による融資を行う。
  - ADFは、低所得国(一人当たり国民総所得が1,205ドル以下を目安)向けに超長期・超低利の融資を行う。(ADFは一部グラントも行う。)
- グラントは、アフガニスタンなどの債務負担能力の低い国に対するプロジェクトを行う。
- 技術支援は、途上国における能力構築、プロジェクト準備、各種調査研究を行う。

	2013年承認額	残 高
OCR	103. 6億ドル	528億ドル*
ADF	30. 1億ドル	284億ドル*
グラント	8. 5億ドル	
技術支援	1. 5億ドル	

\* 2013年11月

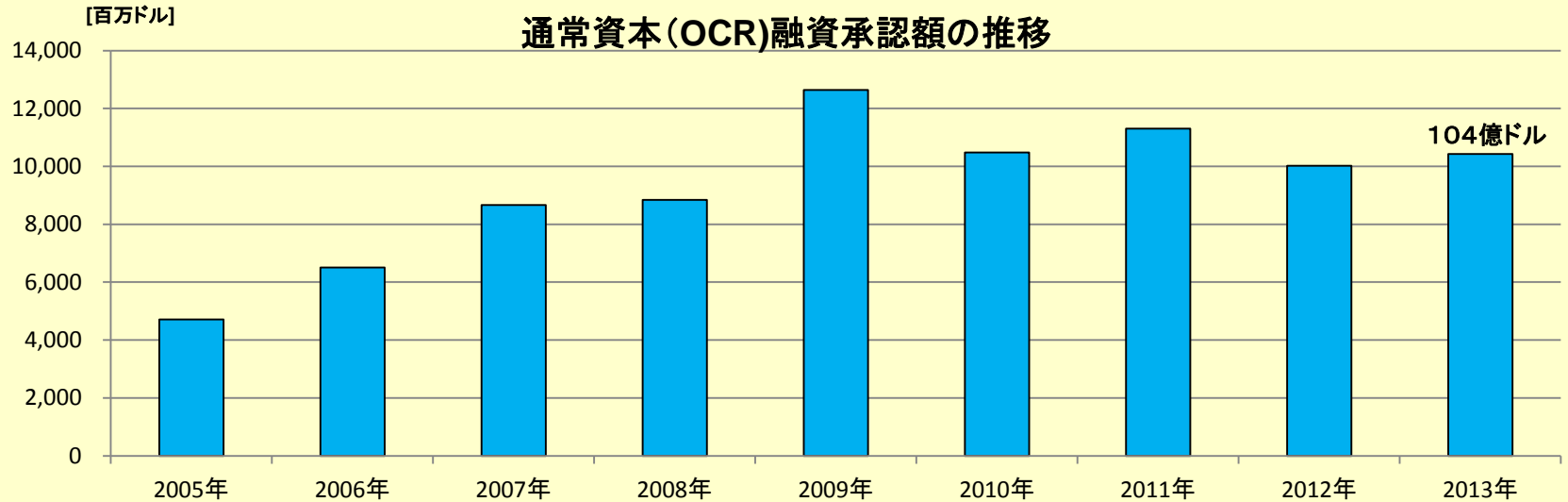
# アジア開発銀行組織図(2014年1月現在)



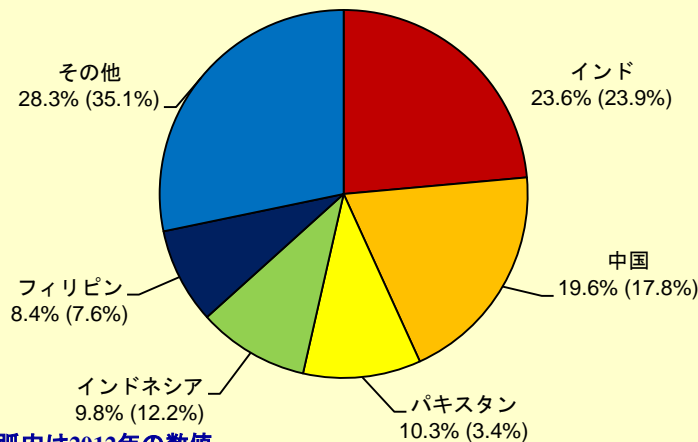
(注)12名の理事の出身国は、日、米、加、独、仏、豪、中、印、韓、インドネシア、パキスタン、マレーシア。

# ADBの業務の実績

## 通常資本(OCR)融資承認額の推移

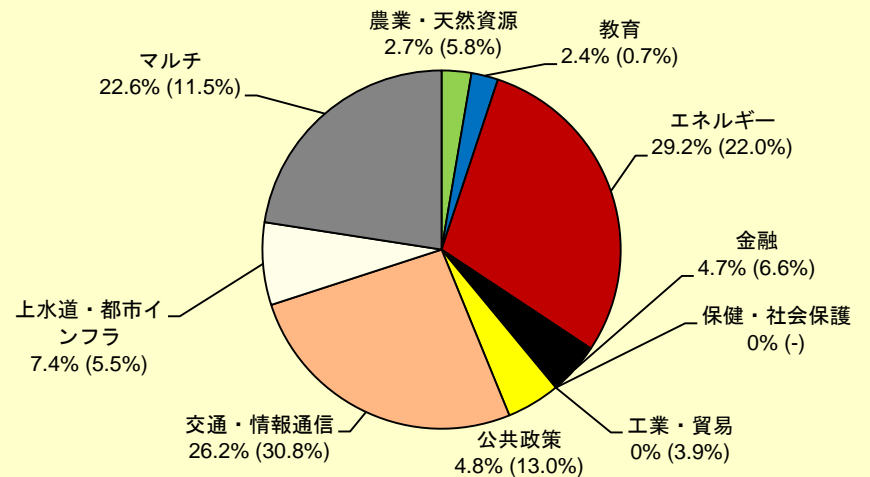


## OCRの国別承認額 (2013年)

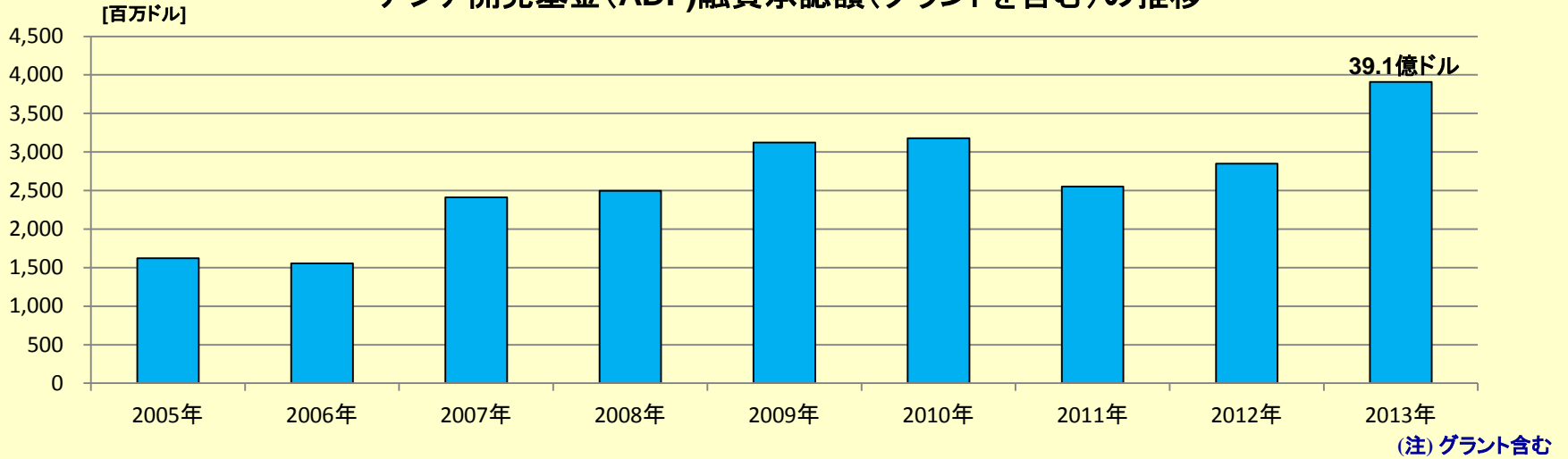


(注) 括弧内は2012年の数値

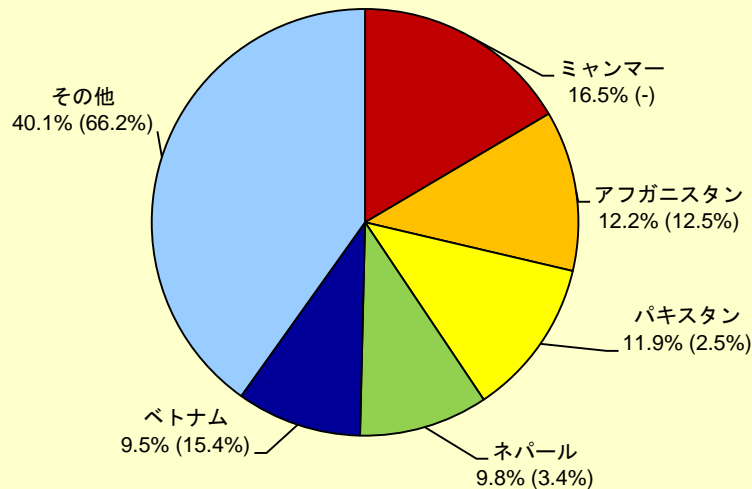
## OCRのセクター別融資承認額 (2013年)



## アジア開発基金(ADF)融資承認額(グラントを含む)の推移

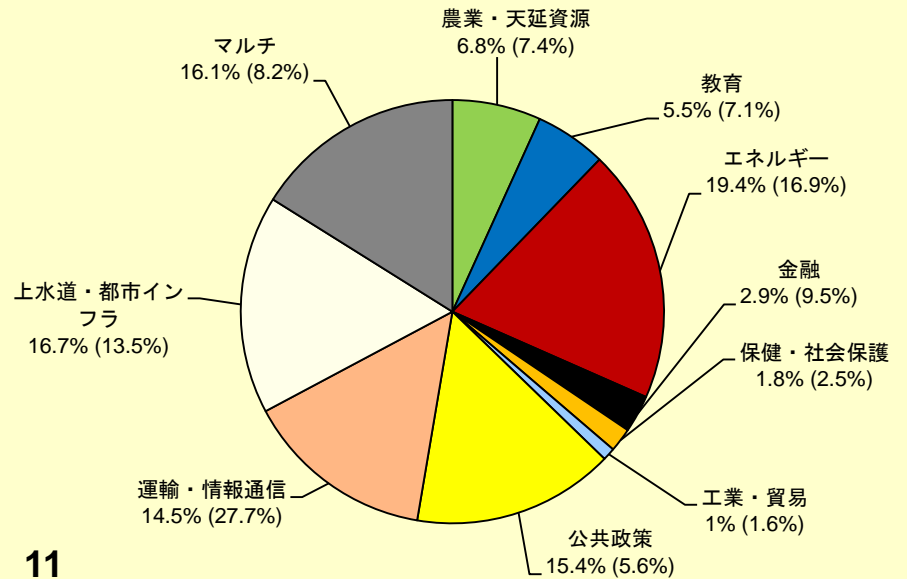


### ADFの国別融資承認額 (2013年)



(注) 括弧内は2011年の数値

### ADFのセクター別融資承認額 (2013年)



# 日本との関係

加盟：我が国は、1966年の設立当初より加盟。

総裁：初代総裁以来、我が国から歴代総裁を輩出（中尾総裁は第9代）

職員：専門職員数1,083名のうち、日本人は149名（13.8%）であり、国籍別では米国（143人）と並ぶ最大の勢力（2013年12月末）。

出資：我が国は、米国と並ぶ通常資本財源（OCR）への最大出資国。また、アジア開発基金（ADF）への最大の拠出国（2012年5月第10次増資に合意）。

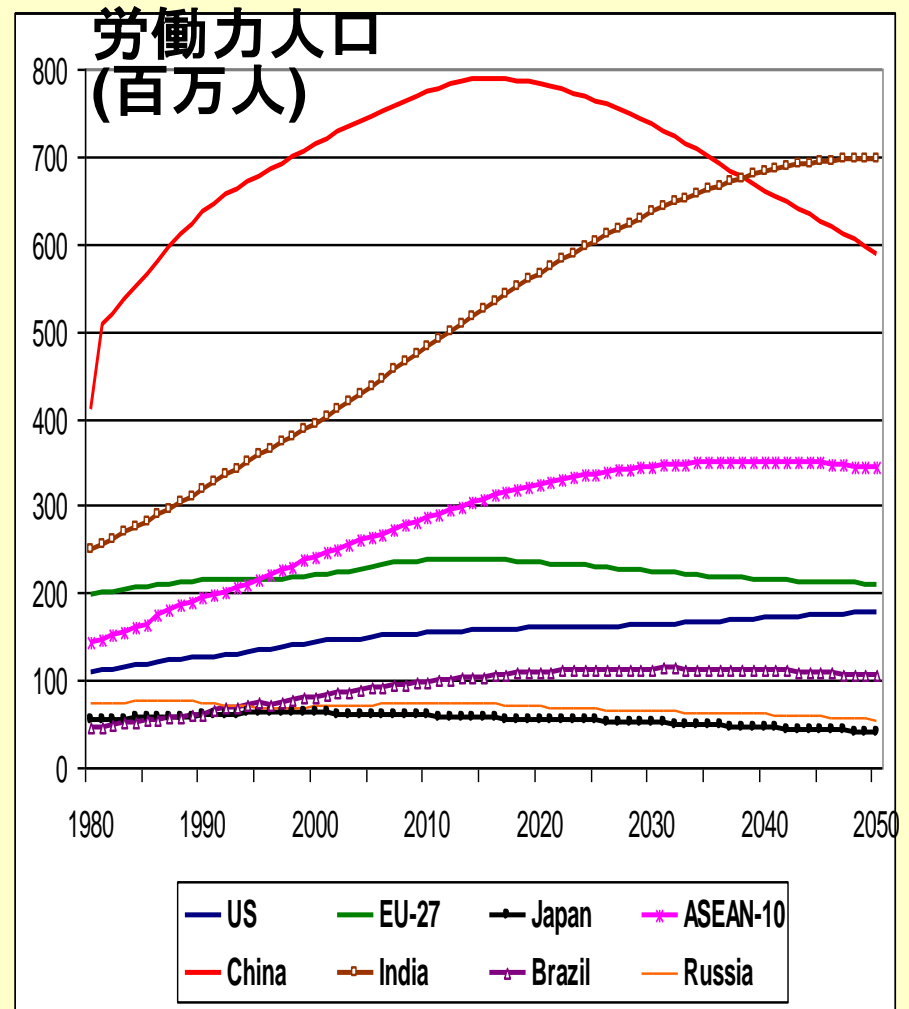
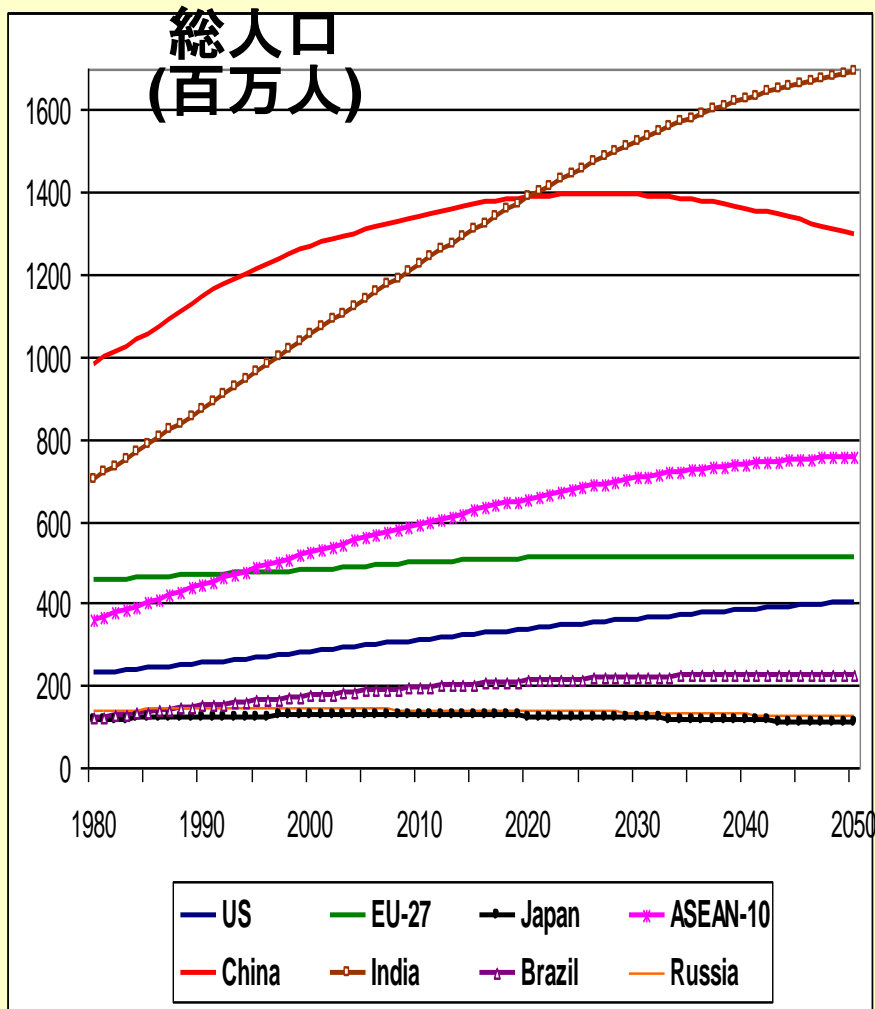
【OCR拠出シェア】

順位	国名	シェア
1	日本	15.6%
	米国	15.6%
3	中国	6.4%
4	インド	6.3%
5	豪州	5.8%

【ADF拠出シェア】

順位	国名	シェア
1	日本	38.0%
2	米国	14.3%
3	豪州	7.3%
4	カナダ	6.2%
5	ドイツ	5.9%

# 主要国における総人口・労働力人口の 長期的動向

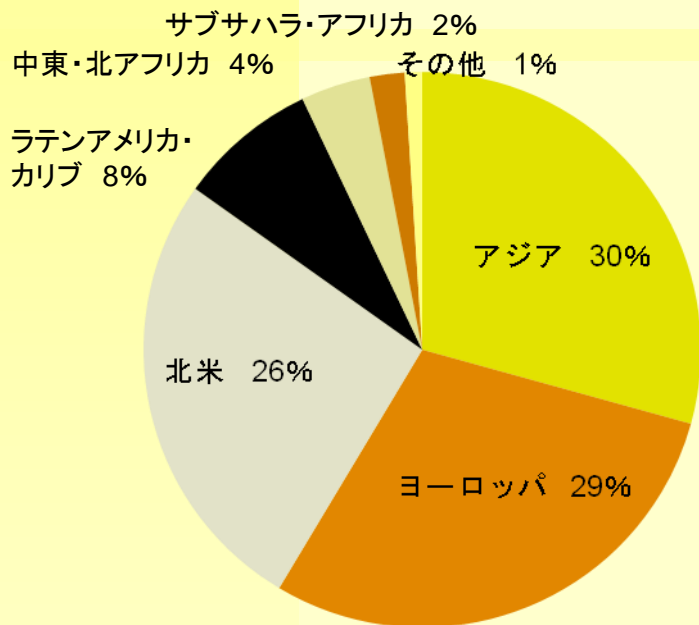


Sources: United Nations, World Population Prospects: The 2012 Revision; International Labour Organization, Key Indicators of the Labour Market; ADB staff estimates.

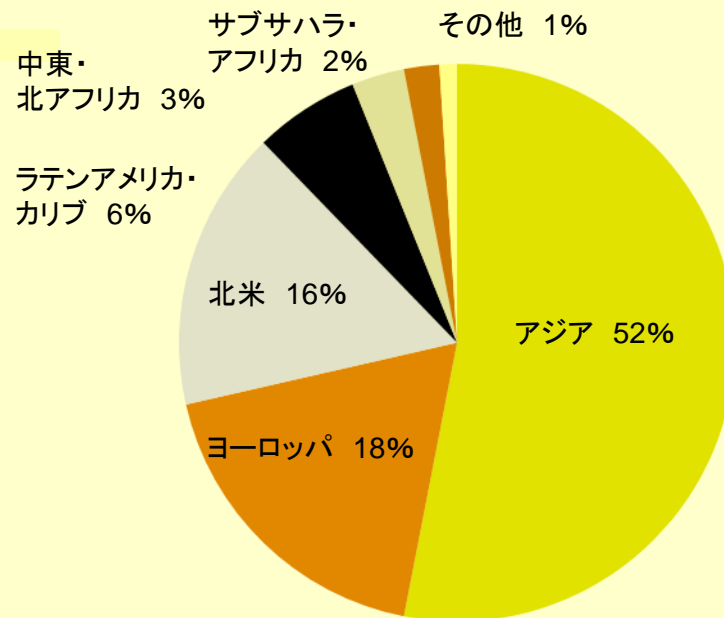
# 「アジアの世紀」のシナリオ (GDPの割合)

＜2011年のADB委託研究「Asia 2050」による＞

現在のアジア(2012年)



アジアの世紀が実現した場合(2050年)



アジア全体のGDP: 21兆ドル (market FX rate)

アジアの一人あたりGDP: 7,636ドル (PPP)

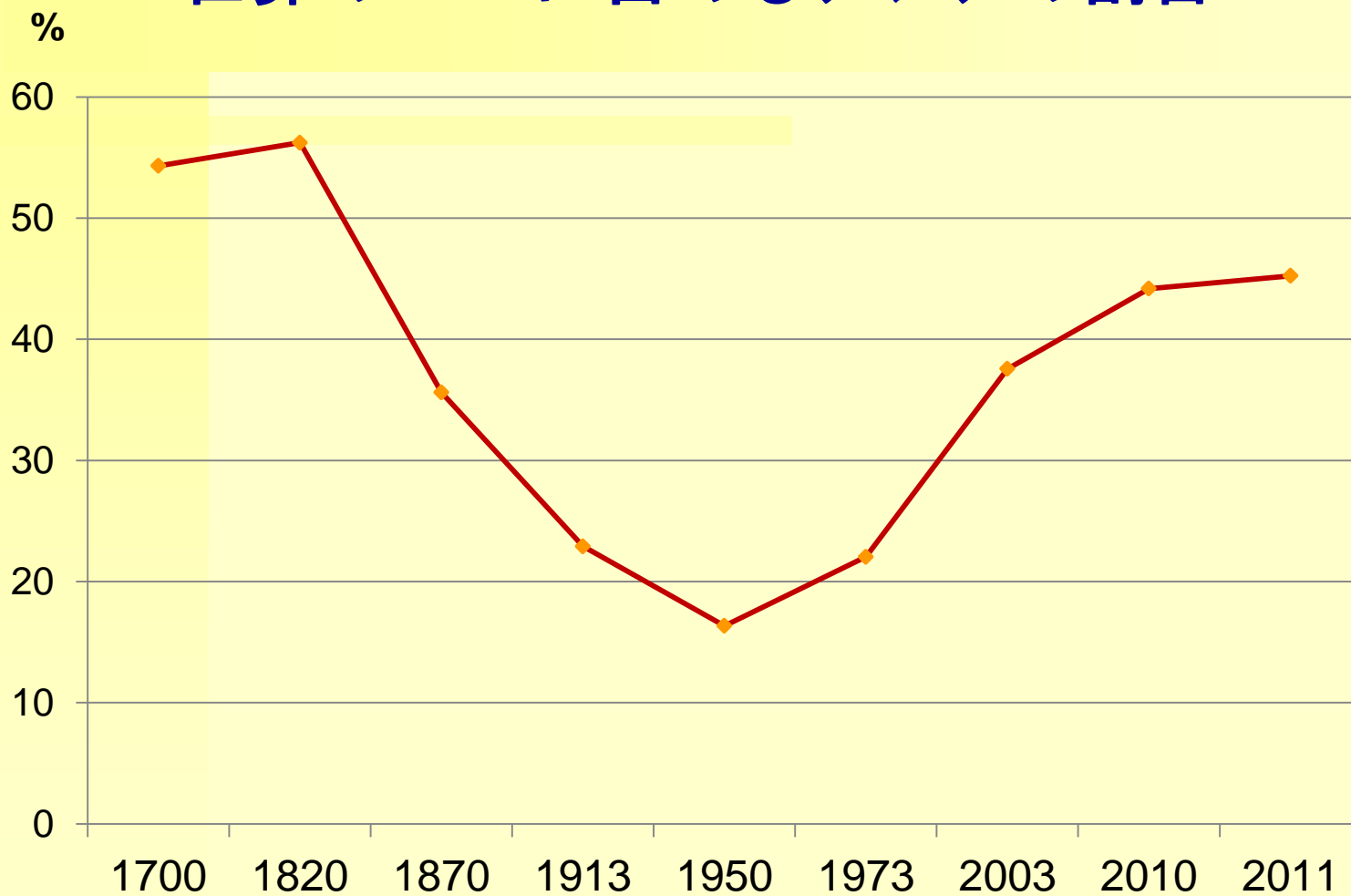
アジア全体のGDP: 174兆ドル (market FX rate)

アジアの一人あたりGDP: 40,800ドル (PPP)

(参考)

	2012年	2050年
アジアの人口	39.1億人 (55%)	47.6億人 (52%)
世界の人口	70.5億人 (100%)	91.5億人 (100%)

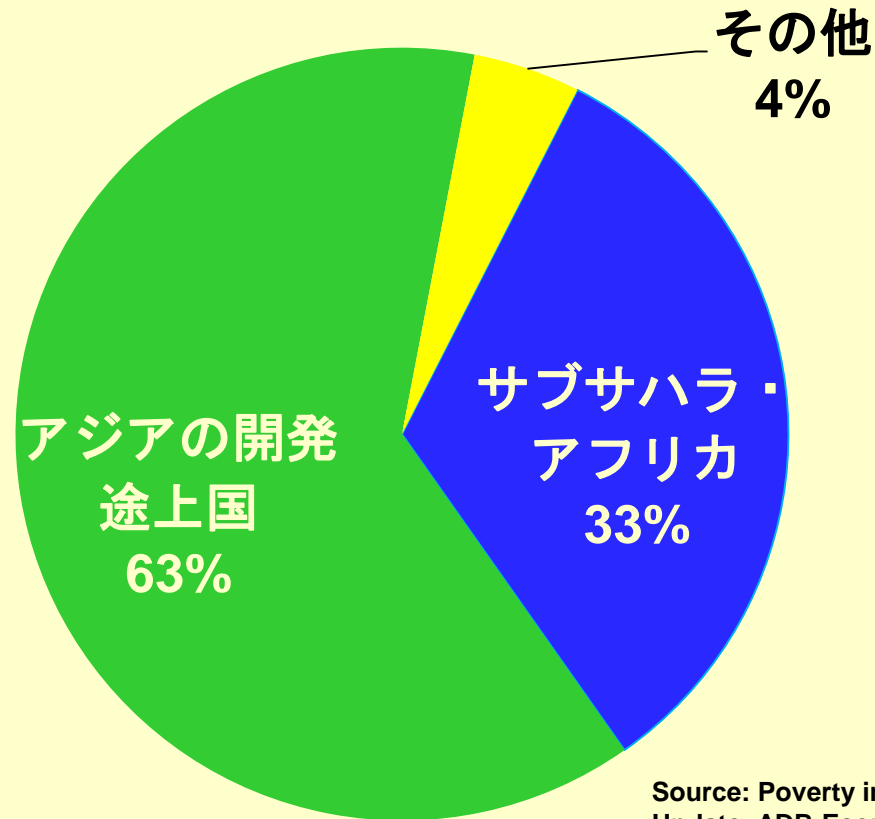
# 世界のGDPに占めるアジアの割合



Source: Maddison, Centennial Group International Estimates. 1700-1950:PPP, 1951-2010: market exchange rates



# 世界の貧困人口に占めるアジアの割合 (2008年、\$1.25ドル未満で生活している人)



Source: Poverty in Asia and the Pacific: An Update, ADB Economics Working Paper Series No.267, August 2011

# ADBの長期戦略 (Strategy 2020)

2008年策定

- 3 Development Agendas for Asia and the Pacific
  - 1) Inclusive Economic Growth
  - 2) Environmentally Sustainable Growth
  - 3) Regional Integration
  
- 5 Core Areas of Operations
  - 1) Infrastructure
  - 2) Environment
  - 3) Regional Cooperation and Integration
  - 4) Finance Sector Development
  - 5) Education

[2013年ADB年次総会での総裁演説における“3 Is”]

- Innovation   - Inclusiveness   - Integration